令和８年度第２回庄原市初任者研修会

令和８年９月４日（金）

広島県立庄原特別支援学校、広島県立庄原実業高等学校、庄原市総合体育館

「庄原市における教育課題を踏まえ、新規採用教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養う」ことを目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭５名、中学校教諭５名、養護教諭２名、事務主任１名、主事１名】

【異校種訪問】広島県立庄原特別支援学校（小学校教諭、養護教諭）
広島県立庄原実業高等学校（中学校教諭）

庄原特別支援学校、庄原実業高等学校の概要説明、授業参観、施設見学を行った。

○庄原特別支援学校では、授業参観から子供の実態把握に基づく授業づくり、環境づくりの工夫について、日常的に必要な支援や指導について学び交流した。

○庄原実業高等学校では、授業参観や施設見学を通して、専門学科の学びや授業づくり、特色を生かしたカリキュラムや学習環境の工夫について学び交流した。





（参加者の振り返りより）

○（庄原特別支援学校）一人一人に応じた支援の重要性や、その支援を確実に行われている姿から、多くのことを学ぶことができた。通常の学級においても、一人一人の実態を丁寧に把握し、それぞれに応じた個別の支援に、もっと焦点を当てていかなければならないと感じた。

○（庄原実業高等学校）専門学科のある学校のカリキュラムや、学科ごとの特色を生かした授業や演習を行っていることを知ることができた。実際の授業や施設を見学することで、それぞれの学科でどのような学びが行われているのかを具体的に理解することができ、多様な進路を考える機会となった。

【講話】「児童・生徒と向き合う」
庄原市教育委員会　教育指導課長　　高淵　直哉

教職員に期待される役割と本市が力を入れていることについて講話を行った。

○教職員として今求められていること、普遍的に求められていることを理解し行動していく必要がある。新たな「教育県ひろしま」の創造に向けて特に求められる事項として、豊かなコミュニケーション能力、確かな授業力等を身につけられるよう、「学び続ける姿勢」を大切にしてほしい。

○庄原市が力を入れている５つの心がけ（挨拶、読書、履物、時間、背筋）について、まずは教職員が子供たちの身近な良きモデルとなることに期待する。そして、児童・生徒と誠実に向き合い続けることで、達成感や喜びやりがいを実感できる教職員となってほしい。



（参加者の振り返りより）

○求められる教職員像を常に意識し、アップデートしていくことの大切さを感じた。子供たちの資質・能力を伸ばすために児童生徒理解を組織として行う。

○日々子供と向き合うことで、その先を見据えた学びを進めていかないといけないと感じた。教職員として、子供たちに投げかける一つ一つの言葉かけを大切にしたいと思った。

【講話】「服務について」

庄原市教育委員会　教育指導課　学事係　学事係長　赤木　一成

服務やそれに関わる法令法規について講話を行った。
○服務とは、公務員が職務遂行上又は公務員としての身分に伴って守るべき義務ないし規律のことであり、教職員として十分理解をしておく必要がある。
○安心、安全、信頼される学校にしていくために、不祥事根絶に向けて正しい認識を持ち続けること。

（参加者の振り返りより）
○服務規律を守ることは、組織や仲間、子供たちを守ることにつながるという意識をもち、子供、保護者、地域の方々に信頼される教職員を目指していきたい。

【講話】「メンタルヘルスの基礎知識」

中国中央病院　心理療法士　田村　愛夕美　様

メンタルヘルス基礎知識について講話を行った。
○教職員がメンタルヘルスの状況は児童生徒への学習へ大きな影響を与える。ストレス対処の基礎知識をもつことが大切である。講義後半は、初任者同士で交流を行い、「わたしのストレス対処法リスト」「わたしのサポート資源」について考え、疲れ具合に応じたストレス対処を実践的に考えた。

（参加者の振り返りより）
○意外と自分自身のストレスサインを見落としていることを認識できた。自分の心に目を向け、ストレス対処し、児童生徒へより良い教育活動が行えるように心掛けたい。

【実践発表・協議】「これまでの実践を振り返って」

実践発表者
庄原市立山内小学校　教諭　山口　もも
庄原市立東城中学校　教諭　諏澤　侑汰

２名の教諭に実践発表をしていただき、その後、これまでの実践を振り返る交流、協議を行った。
○市内学校の経験２、３年目の先輩教員に実践発表をしていただき、自身の授業や取組、子供との向き合い方について振り返った。その後、小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、事務職員、それぞれに分かれグループごとにこれまでの実践を振り返る交流や日々悩んでいること、対処の方法等について協議した。交流、協議には、２、３年目の先輩教員、指導主事、管理主事等が加わった。

（参加者の振り返りより）
○日々、向上心をもって取り組むことの大切さを感じた。自分自身が２年目、３年目にどのように学校や地域に貢献できるかを考えていくきっかけとなった。
○教師自身の成長が子供たちの成長に大きくつながっていることがよく分かった。「今」の自分を記録し、振り返ることで定期的に自分の姿を見つめ直し、成長していきたいと感じた。
○教師が好きなこと、得意なことを学級経営に生かすこと、子供自身に目的意識をもたせて活動させることなど、すぐに実践しようと感じることが多くあった。



